

天高く馬肥ゆる秋空の下、野山が色とりどりに装い始めました。

コロナ感染症の流行が完全に沈静化しない状況の中「三年ぶりの開催」という言葉が使われながら、恒例のイベントや行事が規模を縮小して本村でも実施できています。ただ新規感染者数や病床使用率が完全に下がりきらないままで、全国的には海外からの観光客の受入や国内旅行の支援策の発効などが始まり、人流の増加とともにリバウンドしてくることが懸念されます。

さて、先日岐阜県美術館で開催されている「前田青邨(まえだ せいそん)展」を観てきました。有名で秀逸な作品が一堂に集められた圧巻の展示会で、それを目の当たりにすることができたことは、日頃芸術から縁遠い私も芸術の秋に相応しい時間を得られ大満足でした。

芸術の秋にちなんでもう一つ。今年の村の文化祭に本村出身の彫刻家・清水朋文氏の「道の空」と題した作品を御恵贈いただきましたので、文化展で展示します。この機会に是非、御鑑賞ください。文化展終了後は「はなのき会館」2階のフロアに常設で展示します。

絵画といえば、ロンドンではゴッホの代表作「ひまわり」にトマトスープを、ドイツではモネの「積みわら」にマッシュポテトを環境活動家が投げつけ環境問題の主張をしたというニュースがありましたが、考え違いも甚だしい愚行に、危ないところで人類のかけがえの無い財産が損なわれるところでした。安倍前首相の狙撃事件しかり、方法を選ばない自己主張に安定しない世相を感じます。

話変わって行政では、第六次総合計画の策定と令和5年度予算の編成作業に着手しています。新型コロナウイルス感染症やロシアのウクライナ侵攻などの影響を受けて、ガソリン・重油などの燃料、電気料金、食料品や生活用品などの身近なものの物価も上昇して、住民生活と農林商工業など地元の産業に深刻な影を落し始めていると感じています。また大雨や台風などの災害こそ無かったものの、春先の霜被害や長雨の被害でお茶、米といった主要作物は深刻な状況であること、林業関係でも資材高騰やウッドショックの跳ね返り減少などで大変厳しい状況にあることなどを各団体の要望活動で直接伺い、知ることができました。令和5年度の予算とコロナ関連の地方創生臨時交付金をうまく活用して、各層の村民の皆様、農林業や商工業の事業者の皆様、支援が届けられるよう職員と共に汗と知恵を出してまいり所存です。

また、11月は国道41号や濃飛横断自動車道、本村に関係する国道・県道の道路整備、国民健康保険制度、簡易水道などの令和5年度予算獲得に向けた要望活動に頑張っています。

令和4年11月1日

東白川村長 今井俊郎